

令和5(2023)年度 自己評価表

※評価基準： A＝達成できた
 B＝おおむね達成できた
 C＝ある程度達成できたが改善が必要
 D＝達成できなかった

重点目標 1 安全・安心な学校づくり

部	関連する重点目標	取組目標	取組方法
小学部	1 安心・安全な学校づくり ①安全管理と防災・安全教育の充実	(継続)・ 新規) ・安全管理に関して教員間で共通理解を図り、ヒヤリハットの防止に努める。 ・防災・安全教育において「自分の身を守る行動をとる」ことのできる児童の育成を目指す。	1 安全管理の徹底 ・事故防止のための児童の実態把握及び教員間での共通理解を図る。また、必要に応じて、対応についての検討会を実施する。 ・事例の情報提供や注意喚起のメール送付により、教員に対する教育環境整備への意識付けを図る。 2 防災・安全教育の充実 ・学年や実態に応じた「自分の身を守る行動」を目指し、模範やイラスト等の視覚支援を使用した分かりやすい支援を行う。 ・防災訓練の様子をブロック便りなどに載せることで、保護者への啓発を行う。
保健指導部	1 安心・安全な学校づくり ①安全管理と防災・安全教育の充実	(継続)・ 新規) ・防災訓練、初期対応訓練、日頃の指導を通し、児童生徒が災害から自分の身を守る手段を身につけられるようにする。	1 校内のイラスト掲示の整備や事前事後学習の資料作成・整理などを行い、児童生徒にとってわかりやすく興味をもって取り組めるよう支援を行う。 2 防災に関する行事の前後だけでなく、月初めの安全点検日に定期的に伝えたり校内を回る際に一緒に掲示物を確認したりするなど、児童生徒が防災についての話の聞いたり資料を見たりする機会を増やす。
保健指導部	1 安心・安全な学校づくり ②心身の健康を守る保健・安全教育の推進	(継続)・ 新規) ・児童生徒の心身の健康と安全を目指し、教職員が清掃や食育に関する共通の意識をもって取り組めるようにする。	1 感染症予防の観点も踏まえた清掃方法や、重点的に清掃する箇所(例：冬季 コンセント周りの埃除去)を校内放送や掲示板で周知する。 2 健康な食事について児童生徒と一緒に考えられるよう、月に3回以上給食に関する話題を提供したり、HPや食育だよりでも周知したりする。
生徒指導部	1 安心・安全な学校づくり ①安全管理と防災・安全教育の充実	(継続)・ 新規) ・児童生徒の登下校時及び休日中の事件や事故を未然に防ぐために、児童生徒に対する指導の充実や教職員、保護者への啓発を含めた指導体制を整えて指導にあたる。	1 年間を通して教職員による登下校時の通学指導(スクールバス車中指導及びバス停巡回指導や単独通学生対象の駅指導、通学路立哨指導、ロータリー誘導等)を行う。 2 構内の入退構やスクールバス待機時についてのルールを生徒指導だより等で丁寧に説明し、事故のないように誘導する(バス停巡回指導：5月・9月の実施、構内安全強化週間：6月・10月の実施)。 3 無断外出時捜索訓練や不審者対応研修を実施し、児童生徒の危険を防ぐ知識や技能を学ぶ。 4 保護者会等における丁寧な説明や生徒指導だよりの発行、HPでの掲載等を行うことで安全教育の啓発を行う。
事務部	1 安心・安全な学校づくり ①安全管理と防災・安全教育の充実	(継続)・ 新規) ・危険箇所の修繕、改善を実施する。	1 安全点検等で報告のあった破損箇所や危険箇所について、緊急度等を勘案し、予算の範囲内で修繕等を実施する。 2 予算不足等により、直ちに実施出来ない箇所については、本庁と協議の上、早期の実施を検討する。

重点目標 2 学習指導の充実

部	関連する重点目標	取組目標	取組方法
小学部	2 学習指導の充実 ②自立と社会参加に向けたキャリア教育の推進	(継続 ・ 新規) ・キャリア教育の理解と課題研究課題Cでの取組の実践の推進を図る。	1 キャリア教育の理解 ・課題研究日の学年やブロックの集まりを通して、キャリア教育への理解を深める。 2 課題研究の取組の実践 ・各ブロックのテーマを決め、授業評価シートを活用しながら実践を行う。 ・授業で取り組んでいる様子について、個別懇談やブロック便りなどを通して保護者に伝える。
中学部	2 学習指導の充実 ①ICTを活用した指導の充実	(継続) ・ 新規) ・ICTを活用した授業を推進し、学習指導の充実を図る。	1 ICT活用に関する教材や良い活用事例を学部会で具体的に周知することで、情報や教材の共有を行い、教員同士が互いに学び合って取り組めるようにする。 2 9月保護者会でICT活用についての授業参観を設定したり、学年便りへの掲載や懇談での周知をしたりする。 3 活用した教材やアプリについて情報部の取組と関連付けながら、フォルダ等に整理し、教材の共有を図り、教員同士の学び合いを促す。 4 ICT活用に関する単元を見直し、学年間のつながりや系統性を協議しながら年間指導計画に位置付ける。
高等部	2 学習指導の充実 ②自立と社会参加に向けたキャリア教育の推進	(継続) ・ 新規) ・作業学習の中で、自分の活動(役割・得意なことなど)に主体的もしくは生徒同士や教師と関わりながら取り組むことができるよう、学習内容や支援について検討する。	1 作業班で生徒が主体的に取り組めるよう実態を把握しながら活動や支援方法について検討、指導実践。 2 課題研究を通して活動や支援方法について、見直しをしながら作業実践。 3 各班の活動と中学部作業学習での取組を把握し、今後の連携につなげる。
訪問教育学級	2 学習指導の充実 ②自立と社会参加に向けたキャリア教育の推進	(継続) ・ 新規) ・キャリア教育の視点に基づくR5年度の自立活動年間計画の見直しを行い、R6年度に向けた個々の自立活動の年間計画の作成を行う。 ・授業実践や検討会を通して教師の授業等の質の向上を図る。	1 自立活動目標設定シートを使った個々の目標等と自立活動の年間計画の確認及び検討(～7月) 2 検討会を通して、教師間での共通理解を図ったり、学習内容や教材等の検討や情報交換をすすめたりする。(～9月) 3 実践後の検討会を定期的に行い、内容の見直し、教材の改善などを行う。(～12月) 4 3までの話し合いをもとに次年度の自立活動の個別の年間計画を作成する。(～2月)
学習指導部	2 学習指導の充実 ②自立と社会参加に向けたキャリア教育の推進	(継続) ・ 新規) キャリア教育の理解を促進し、学習指導の充実を図る。	1 キャリア教育についての資料や実践例を共有しキャリア教育の理解を深める。 2 進路指導部と連携しながらキャリアパスポートに綴る様式等について検討し、綴る内容や活用方法を共通理解することでキャリアパスポートの活用を促進する。 3 課題研究B、Cと関連付けながら、教科等部会で各教科や各教科等を合わせた指導などの単元の学習内容について、各学部間のつながりを意識した見直しの検討を行うことで、キャリア教育の視点の共有を図る。 4 キャリア教育に関連する学習活動についてホームページ等で情報発信することで学校や家庭においてキャリア教育についての理解と協力連携の促進を図る。
情報部	2 学習指導の充実 ①ICTを活用した指導の充実	(継続) ・ 新規) ・手軽にICTを使った学習ができるように、ICTを活用した学習環境の拡充を図る。	1 教職員がICTを活用した教育を実践していくための情報提供を行う。 ・ICT支援員と連携し教材の開発や資料集めを行う。 ・授業の実践例や教材フォルダやインターネット上にある様々な学習教材の紹介を行う。(毎月学部会で) ・高教研情報教育分科会と連携し、情報教育全体計画を作成する。 「学習指導部と連携」【情報教育係】 2 情報機器の管理、メンテナンスを行い不具合時の速やかな対応を行う。【情報視聴覚機器係】 3 ICT教育の取組を保護者に周知し、理解を深めていただく。【HP・広報係】

重点目標3 地域とともにある学校づくり

部	関連する重点目標	取組目標	取組方法
高等部	3 地域とともにある学校づくり ①家庭や地域社会との連携	(継続 ・ 新規) ・学習活動の中で、地域とつながりをととした体験的な学びを实践する。	1 作業学習等の学習の中で、地域と連携を行い生徒主体の学習を展開する。 2 コロナ禍でのこれまでの地域とのつながりやコロナ前の取組について確認する。あわせて、地域連携係、進路指導部と連携し、作業学習等で関わりのある関係機関のニーズを把握する。 3 学習の中で取り組む内容を年間指導計画と照らし合わせて見直し、実践する。 4 次年度の年間指導計画を作成する。
進路指導部	3 地域とともにある学校づくり ①家庭や地域社会との連携	(継続 ・ 新規) 保護者や福祉施設、企業等との連携を深め、進路指導の充実を図る。	1 保護者、地域に向けて進路指導に関する情報をホームページ(年10回更新)と進路便り(年4回)で発信し、進路指導等の取組についての理解を深める。 2 福祉施設や企業等と連携し、職員体験研修を実施する。研修で学んだことを児童生徒の支援や進路指導に活かす。 3 福祉施設や企業等の職員に、授業見学や生徒との関わりをもつ機会を設け、児童生徒理解を深めていただき、児童生徒の生徒の学習意欲向上に繋げる。
渉外部	3 地域とともにある学校づくり ①家庭や地域社会との連携	(継続) ・ 新規) PTA活動やおおぞら会(卒業生と親の会)についての理解を深め、保護者同士や地域とのつながりが深まるような取組を行う。	1 より多くの方に参加していただけるように丁寧な説明を行い、活動しやすい方法を検討していく。(リサイクル活動、ベルマーク活動、イエローシートキャンペーンの店頭活動、おおぞら会の活動内容等をHPやたよりで発信する) 2 保護者の声に耳を傾け、進路指導部や地域支援部、保健指導部と連携しながら、保護者の求めている情報を教職員と共有し、発信できる活動を企画実施、見直しをする。(地域の施設情報、卒業生の声、食育・性教育の研修、「OSM(教えて先輩ママさん)の会」等)
地域支援部	3 地域とともにある学校づくり ①家庭や地域社会との連携	(継続 ・ 新規) ・特別支援教育のセンター的機能を強化し、地域のニーズに応じた指導や支援の充実を目指す。	1 学校説明会を円滑に実施し、地域に対し情報提供や支援を行う。 ・市町の教育委員会や関係者に対し本校の教育や児童生徒の実態の理解を深め、適切な就学や転学につなげる。 ・保護者からの相談に丁寧に対応し、ニーズに応える。 2 地域の小中学校、義務教育学校や高等学校に対し、障害のある児童生徒の教育についての支援を行う。 ・地域の学校からの支援要請を受け、各校の要請内容に応じた情報提供や助言を行う。 ・地域の幼児保育施設や小中学校の教職員を対象に、本校の専門性を活かした研修会を開催する。
地域支援部	3 地域とともにある学校づくり ②豊かな生活のための外部資源の活用	(継続 ・ 新規) ・地域の方を教育活動に生かし、児童生徒の学びの充実を図る。	1 「地域をきれいにし隊」の活動を通して、地域の方々との関わりをもち、体験的な学びを实践できるようにする。 ・特別活動係と連携をし、児童生徒が自発的な興味関心に基づいて動き、主体的な学び、対話的な学び、深い学びにつながるようにする。 ・地域の方々のニーズに耳を傾け、共に学びあえるような機会とする。 2 下野市社会福祉協議会ボランティアセンター等の外部資源を活用する。 ・各学部の要望に応じて、地域のボランティアを依頼し、教育活動の充実を図る。

重点目標 4 教職員の人材育成と専門性の向上

部	関連する重点目標	取組目標	取組方法
中学部	4 教職員の人材育成と専門性の向上 ①学び続ける教職員による授業力の向上	(継続 ・ 新規) ・ 自立活動の理解と指導の充実を推進し、生徒理解や授業力の向上を図る。	1 学部で自立活動の研修実施や研修資料等の配布を行い、自立活動の理解を深める。 2 自立活動目標設定シート作成後、実際の指導や手立てを想定しながら、小グループで目標設定シートの内容を具体的に吟味する。 3 定期的に学習評価を小グループで行い、生徒の学習の改善と教師の指導の改善につなげる。 4 計画（目標設定シートの作成や見直し）、実践、学習評価（学習の改善、指導の改善）を繰り返し、自立活動の理解や実践力の向上につなげる。 5 自立活動の視点に基づいた指導や関わりを授業の中に組み入れ、授業の質の向上につなげる。
		(継続 ・ 新規) ・ 教務部としてのまとまりを意識し、係間の意思疎通を高めていく。 ・ 部内各係業務に対する理解を深め、専門性の向上及び円滑な業務運営に努める。	1 Teams等を積極的に活用し、係の業務遂行状況を係間、部内で共有する。 2 夏、冬の休業中に部内での業務伝達会を開催し、各係の主要業務に関する共通理解を図るとともに、部全体として専門性を高められるよう務める。
学習指導部	4 教職員の人材育成と専門性の向上 ①学び続ける教職員による授業力の向上	(継続 ・ 新規) ・ 自立活動の充実を促進し、個に応じた指導力の向上を図る。	1 自立活動目標設定シートの活用や作成について研修を実施し、個別の指導計画への個に応じた目標設定に結び付けられるようにする。 2 自立活動指導充実事業において専門家出席による事例検討会を年3回実施し、指導助言を学校全体で共有する。 3 課題研究日と関連付けながら自立活動の目標検討会を計画実施する。話し合う内容を明確に周知し、指導内容や児童生徒の学習状況の様子について教員間で意見を出し合いながら個に応じた自立活動指導の充実につなげる。 4 課題研究Aと関連付けながら自立活動事例シートの共有や作成を推進し、課題研究日や学年会等で事例の紹介を行う。
		(継続) ・ 新規) ・ 研究推進の実践と効果的なケース会議遂行のための人材育成を推進する。	1 昨年までの成果をもとに、3つの学校課題研究が、スムーズに他学部でも広がりを見せられるように、研修部全体、研究係、研究推進委員会、研究推進グループの情報の共有と連携を図る。 ・ Teams等を活用して事前に研究の進捗状況を整理し、7回の研究推進委員会を45分以内に実施する。 2 ファシリテーター育成の研修を各学部1回以上実施して、有意義な話し合いの場を支える人材を育成する。
情報部	4 教職員の人材育成と専門性の向上 ①学び続ける教職員による授業力の向上	(継続) ・ 新規) ・ 情報教育に関する教職員の授業力の向上を図る。	1 ICTを活用した授業に関する研修や情報モラルや情報セキュリティに関する研修等を定期的実施する。(ICT支援員と連携し毎月実施) 2 情報教育Q&Aの定期的な情報更新を行い活用を促す。(毎月データを追加) 3 メールや個人情報などの情報漏洩に関する注意喚起を行う。(県からの連絡や新聞記事などから) 【学習指導部と連携】【情報化・データ管理】【情報教育係】